

広島交響楽団 第30回 島根定期演奏会

創立60周年
「繋ぐ」



指揮
下野竜也
Conductor: Tatsuya Shimono



チロ
マーティン・スタンツェライ
Violoncello: Martin Stanzel

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA The 30th Subscription Concert in Shimane

©Naoya Yamaguchi

2023.6.25 (日)

14:30開演 (13:45開場)

いわみ芸術劇場ホール再開記念

島根県芸術文化センター (島根県益田市有明町5-15)

グラントワ 大ホール

◆入場料 (全席指定・税込) / S席: 3,500円 A席: 2,500円 学生: 1,000円

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。当日要学生証。

◆チケット発売日 / 2023年4月15日 (土)、広響事務局は2023年4月17日 (月)

◆プレイガイド / グラントワ総合案内カウンター TEL: 0856-31-1871

広響事務局、オンラインチケット「シマチケ」 シマチケでの購入はこちらから⇒

◎主催 / 島根県、公益財団法人しまね文化振興財団 (いわみ芸術劇場)、公益社団法人広島交響楽協会

◎共催 / 芸術文化とふれあう協議会、日本海テレビ

◎助成 /



文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

◎特別協賛 /



お問い合わせ・託児申込み / グラントワ TEL: 0856-31-1860

ブラームス

大学祝典序曲作品80

Brahms: Academic Festival Overture Op.80

シューマン

チェロ協奏曲イ短調作品129

Schumann: Cello Concerto in A minor Op.129

ドヴォルザーク

交響曲第8番ト長調作品88

Dvořák: Symphony No.8 in G major Op.88



※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

※無料託児サービスがございます。ご希望の方は6月18日(日)までにお申し込みください。

※車椅子鑑賞エリア、赤外線補聴装置をご希望の方はグラントワへお問い合わせください。



下野×広響、回帰線上のドヴォルザーク

幕開けはブラームス大学祝典序曲でグラントワのリニューアルを祝います。広響首席チェロ奏者マーティン・スタンツェライトのソロでおおくりするのは、ブラームスと関係の深いシューマンの憂いをたたえるチェロ協奏曲。下野竜也が初めて広響定期に登場したのは2001年のドヴォルザークの6番。その後続けて定期で7～9番を取り上げるなど、ドヴォルザークは下野・広響にとって思い出深い作曲家。音楽総監督締めくくりに年に名曲8番に回帰して20年を越える足跡に想いを馳せます。



指揮 下野 竜也 Conductor : Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)。
1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内では、定期的にNHK交響楽団定期公演に招かれる他、国内主要オーケストラに客演し、コンサート、放送などに登場している。また、国外ではコンクール優勝後、ローマサンタチェチーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、チェコフィル、ブラハフィル、シュツットガルト放送響、南西ドイツ交響楽団、オーストリア室内管、ボルドー・アテキーヌ管、ロワール管、コートダジュール・カンヌ管、ストラスブル管、クラコフフィル、シンフォニア・ヴァルソビア、バルセロナ響などを指揮。

これまでに、読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月～2013年3月)、同団首席客演指揮者(2013年4月～2017年3月)、京都市交響楽団常任客演指揮者(2014年4月～2017年3月)、同団常任首席客演指揮者(2017年4月～2020年3月)を歴任。2011年1月、広島ウインドオーケストラの音楽監督に就任し現在に至る。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。NHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

公式ホームページ <https://www.tatsuyashimono.com/>

チェロ マーティン・スタンツェライト Violoncello : Martin Stanzeleit

ドイツ出身。5歳よりチェロを始める。エッセン国立音楽大学で、ヤンチャン・チョウ氏に師事。同大学を首席で卒業後、ソリストコースでクリストフ・リヒター氏のもとで学ぶほか、ジークフリート・パルム、ハインリヒ・シフ、ヤーン・シュ・シュタルケルの各氏に師事。デンマーク王立歌劇場に入団。コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団にもチェロ首席奏者として招聘される。1998年、広島交響楽団の首席チェロ奏者に就任。広島交響楽団や全国各地のオーケストラなどとソリストとして出演するほか、客演首席奏者としての招聘も多い。室内楽奏者としても幅広く活躍している。2011年、地域の文化活動の発展に功績があったとして、財団法人 けんしん育英文化振興財団より、県民文化奨励賞受賞。

2015年、CD「Live in Karuizawa」をリリース。2019年、弦楽四重奏団「ネリオンカルテット」を結成、デビューアルバム「A Concert For Peace」をリリース。

使用楽器は1691年製フランチェスコ・ルジェーリ。



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace～音楽で平和を～”をテーマに活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽によるメッセージを発信している。

「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>



あかるい未来

このまちの全ての人々が、この先もずっと快適に暮らせるように。
わたしたちには、電気のある安心な毎日をお届けする使命があります。

中国電力株式会社

<https://www.energia.co.jp/>

